事務事業評価シート　平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

所管課	企画政策課	担当班	企画調整班

事務事業名	コード	3610	「がんばろう！旭」復興支援事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	2	1	7

施策体系					
基本施策	28	震災からの復興と防災力の強化	根拠法令	「がんばろう！旭」復興支援事業補助金交付要綱
施策の展開	54	震災からの復興	戦略事業	245 「がんばろう！旭」復興支援事業
施策の展開			戦略事業	

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☑ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☑ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 __ 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☑ 期間限定複数年度 平成 24 年度～ 平成 32 年度まで	「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金・寄附金等を原資とした旭市災害復興基金を財源として、東日本大震災からの復興・創生に資するイベントを行う団体の支援及び防災公演会等の各種復興事業を開催することにより、復興に向けて歩む市の姿を積極的に発信し、様々な交流の活性化を図る。また、震災からの復興に向けた生活の安定やコミュニティの再生を図る。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金・寄附金等を原資とした基金を創設し、復興事業の財源として活用してきた。	平成32年度までに使い切らなかった場合には、残額の返還が必要。公益性や復興への貢献を考慮した上で、全体的な段階的縮減を図っていく。	助成対象とするイベントを追加して欲しいとの要望があった。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円
1.補助金	8,770	「がんばろう！旭」復興支援事業補助金
2.委託料	0	公演等委託料
3.使用料・賞借料	0	東総文化会館ホール借上料・著作権料
4.印刷製本費	0	イベントチラシ印刷
5.その他	0	報償金　消耗品等

② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	8,770	災害復興基金繰入金

前年度増減理由	復興計画期間終了により段階的縮減を図るため

		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
事業費 費目内訳	1. 補助金	千円	10,139	10,117	8,909	8,770	8,770
	2. 委託料	千円	0	0	0		0
	3. 使用料・賞借料	千円	522	0	0		0
	4. 印刷製本費	千円	0	0	0		0
	5. その他	千円	118	0	0		0
	事業費計 (A)	千円	10,779	10,117	8,909	8,770	8,770
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	10,779	10,117	8,909	8,770	8,770
	5. 一般財源	千円	0	0	0	0	0

従事職員数	常時 1 人	最大 人 × 日 =	延べ 0 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段 ① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
29年度実績(29年度に行った主な活動) 「がんばろう！旭」復興支援事業補助金の交付	ア イベント開催数＋補助対象イベント数	回	10	7	7	7	7
	イ						

目的 ② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
対象	観光客	ア 観光客数(観光入込客数＋宿泊客数)の対平成22年度比 ※出典:千葉県観光入込調査	%	107.6	136.6	191.7	186.6	212.8
意図	復興に向けて歩む姿の積極的な発信、様々な交流の活性化							
対象		イ						
意図								

(4)事務事業優先度評価の結果

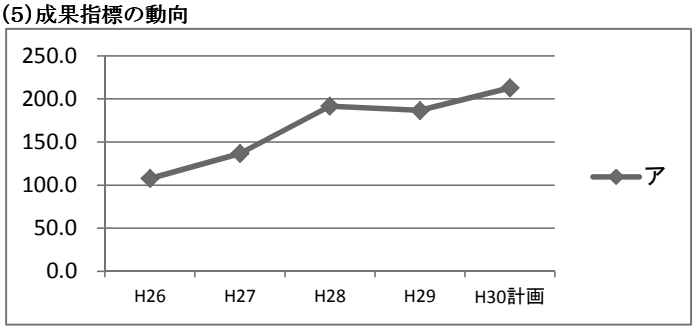
①成果優先度評価結果

施策貢献度 ＼ 成果向上余地	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい			
普通			⑦
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

成果優先度 ＼ コスト比率	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①	優先度評価対象外		
②③			
④⑤⑥			
⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容		
① 進捗状況	☐ 完了　☑ 順調　☐ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難	
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)		
② 成果の状況	成果指標ア　成果指標のタイプ ↗ 数値増＝成果向上　☐ 向上　☐ 横ばい　☑ 低下	
	成果指標イ　☐ 向上　☐ 横ばい　☐ 低下	
【コメント】(低下の場合、その理由)	28年度は道の駅が調査対象に加わったことで、観光客数の大幅な増加へつながったが、29年度については観光施設の入込が多少減少したことと、桜まつりや砂の彫刻美術展のイベント日に天候不良で入込が減少してしまったため。	

成果動向 比較	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画
ア	△0.7	29.0	55.1	△5.1	26.2
イ					

③ 今年度取組事項(30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	
		例年通り	☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 現状維持　☑ 廃止・休止　☐ 見直し　☐ その他( )	
			平成32年度末	基金の運用が終わる平成32年度をもって事業を終了する。